

授業科目名	作業治療学Ⅰ（中枢①）	授業形態	講義	配当学期	2年（前期）
担当教員名	中村 麻美、開発 基文、浦田 康平	単位数	2単位	時間数	60時間
授業概要 学習目標	<p>〔授業概要〕 身体障害領域における中枢疾患の一般的な作業療法の流れや、治療の基礎知識について学習する。</p> <p>〔学習目標〕 各疾患における治療の原理原則、治療手技や考え方を理解する。</p>				
授業回数	授業内容				
第 1 回	高次脳機能障害総論				〔中村〕
第 2 回	高次脳障害の評価・治療の原則				〔中村〕
第 3 回	認知症に対する作業療法				〔中村〕
第 4 回	記憶に対する作業療法				〔中村〕
第 5 回	注意に対する作業療法				〔中村〕
第 6 回	半側空間無視に対する作業療法				〔中村〕
第 7 回	失行に対する作業療法				〔中村〕
第 8 回	遂行機能障害に対する作業療法				〔中村〕
第 9 回	失語に対する作業療法				〔中村〕
第 10 回	失認に対する作業療法				〔中村〕
第 11 回	社会行動障害に対する作業療法				〔中村〕
第 12 回	画像の診かた				〔中村〕
第 13 回	対象となる機能障害と問題解決法①				〔中村〕
第 14 回	対象となる機能障害と問題解決法②				〔中村〕
第 15 回	対象となる機能障害と問題解決法③				〔中村〕
第 16 回	脳血管障害① 脳の基礎				〔浦田〕
第 17 回	脳血管障害② 脳血管障害とは①				〔浦田〕
第 18 回	脳血管障害③ 脳血管障害とは②				〔浦田〕
第 19 回	脳血管障害④ 脳血管障害の症状・評価				〔浦田〕
第 20 回	脳血管障害⑤ 脳血管障害の治療①				〔浦田〕
第 21 回	脳血管障害⑥ 脳血管障害の治療②				〔浦田〕
第 22 回	脳血管障害⑦ 脳血管障害の治療③				〔浦田〕

授業科目名	作業治療学Ⅰ（中枢①）	授業形態	講義	配当学期	2年（前期）
担当教員名	中村 麻美、開発 基文、浦田 康平	単位数	2単位	時間数	60時間
第 23 回	脊髄損傷① SCIとは、作業療法評価 ゴールドマスターP134～P140				〔開発〕
第 24 回	脊髄損傷② ADL（移乗・移動）① ゴールドマスターP140～P143				〔開発〕
第 25 回	脊髄損傷③ ADL（移乗・移動）② ゴールドマスターP140～P143				〔開発〕
第 26 回	脊髄損傷④ 内部障害 ゴールドマスターP142～P146				〔開発〕
第 27 回	脊髄損傷⑤ ADL(セルフケア) ゴールドマスターP146～150				〔開発〕
第 28 回	脊髄損傷⑥ 自助具や福祉機器 ゴールドマスターP150～P153				〔開発〕
第 29 回	脊髄損傷⑦ 自立生活と性 ゴールドマスターP152～P156				〔開発〕
第 30 回	脊髄損傷⑧ 頸髄損傷者の評価演習				〔開発〕
評価方法	レポート・小テスト（20％）、定期試験（80％）				
教科書 参考図書	ゴールド・マスター・テキスト 身体障害作業療法学 第3版（メジカルビュー） 標準作業療法学 高次脳機能作業療法学 第2版（医学書院） 〔教科書〕 脊髄損傷マニュアル第3版（医学書院） 病気がみえるvol.7 脳・神経（MEDIC MEDIA） リハに役立つ脳画像（メジカルビュー） 〔参考図書〕 図解 作業療法技術ガイド 第3版（文光堂）				
履修上の 留意点	出席することが最低限の履修上必要なことです。過去の基礎的な学習が必要な場面も多くありますので、再度復習してさらに理解を深めるようにしてください。				
メッセージ	身体障害領域での作業療法の基礎となります。しっかりと今までに学んだ疾患に対してどのように作業療法を展開していくのか理解して行ってください。				